

平成19年度 川内中央中校区 ふれあい市民会議 答 弁 要 旨

と き 平成19年10月26日（金）14：00～16：30

ところ 国際交流センター

出席者 市 市 長

消防局長，総務部長，企画政策部長，市民福祉部長，農林水産部長，
商工観光部長，建設部長，教育部長，水道局長，危機管理監，
市政広報官，コミュニティ課長，広報室長，

広報室長代理兼広聴広報グループ長，広聴広報グループ員

市議：川畑善照議員，小牧勝一郎議員，佃昌樹議員，今塩屋裕一議員，
木原秀治議員

地域：中央中校区各地区コミュニティ協議会長をはじめとする
地区住民62名

議題1 （川内地区コミュニティ協議会）

国道3号線歩行者天国について

前回の市民会議の際にもあげた議題であります。前回の回答ではインターが完成すれば国道3号線の通行車両も減り，歩行者天国の開催についても可能になるだろうということではありますが，その間にも商店街は日々活気を無くしつつある状況をふまえ，その間の行政の実現可能な年次計画について具体例を伺いたい。

【商工観光部長】

国道3号における定期的な歩行者天国の開催については，有効な中心商店街活性化策の一つと考えております。しかしながら，国道3号が国直轄の幹線国道であることから，現時点では，交通管理者である警察，道路管理者である国が，許可する可能性は極めて低いと考えております。ただし，今後の南九州西回り自動車道の整備後に備えて，必要な情報収集に努めたいと考えております。それまでの間の，中心商店街活性化策としては，商工会議所や商店街の方々等と協力しながら，次の5つの施策を中心に取り組んでまいりたいと考えております。

第1に，国道3号の歩道部分や周辺市道等を活用した商店街活性化イベントの定期的開催。イベントについては，来年以降，徐々に開催回数を増やせないかどうか，商

店街の方々に働きかけたいと考えています。

第2に、チャレンジショップなど、空き店舗活用事業の実施。

第3に、大型店ほか集客施設の中心市街地への誘致。

第4に、街なか居住促進など、中心市街地活性化のための新しい基本計画の策定。これは、来年度中の策定に向けて現在作業中でございます。及び同計画に基づく速やかな事業の実施。

第5に、活性化事業の実施主体としてのまちづくり会社の設立。これは来年度中の設立へ向け現在検討中であります。

これらに積極的に、取り組んで参りたいと考えております。

議題2 (川内地区コミュニティ協議会) 市街地への街なか居住促進について

中心市街地である向田地区周辺においては、ここ10年で約900人も人口が減少し、居住人口が3200人程度になっています。

中心市街地の活性化を図っていくためにも、街なかへの居住を促進することが必要です。「コンパクトシティ」が目指す条件は、向田地区周辺にはそろっております。公共施設が集中し、買い物・病院等のアクセスも良いため、居住するには最適な地域です。ただ、居住する住宅の不足・家賃高さ等の問題があります。この問題を解決するためには、民間活力を利用した借上げによる公営住宅整備や、民間が作る共同住宅（優良建築物整備事業）への助成事業等を整備していただけますようお願いいたします。

【建設部長】

本市の公営住宅整備は、平成17年度に公営住宅ストック総合活用計画を策定し、市営住宅の整備、管理の基本的な考え方を定めております。その活用計画での基本方針に、ストック（既存の建物）の有効活用、民間活力の活用等を掲げており、現在、公営住宅ストック総合改善事業（市営住宅の建物等の改善事業）や過疎地域における定住促進を目的とした借上げ型地域振興住宅を年次的に実施しているところであります。

向田地区におきましては、公営住宅整備率が3.76%であり、市の平均を下回っており、公営住宅が不足している状況は認識しております。

当地域では、街中である向田本町に市有地がありますので、それを活用し民間の方に住宅を建設していただき、市が市営住宅（公営住宅）として借上げ運用する方法や遊休民地に建物を建設していただき、その一部の階を市営住宅として借上げ、その他の階については、店舗やマンションなどで活用する方法などが考えられます。

いずれにしても、建物を建てていただく民間の事業者の方々などがいなければできませんので、そういう方々と協議を行なうなど検討したいと考えます。

また、民間が建設する共同住宅への助成制度では、特定優良賃貸住宅及び高齢者向け特定優良賃貸住宅整備事業又は借上型公営住宅整備事業があります。

現在、県においては、高齢者向け特定優良賃貸住宅整備事業について補助を行っております。もし、希望される方がいらっしゃれば、市に相談していただければ、県と協議をして参りたいと考えています。

本市においても、財政的にも非常に厳しい状況ではありますが、助成制度についても検討して参ります。

議題3 (川内地区コミュニティ協議会)

祇園橋の拡幅について

国道3号線から平佐方面に抜ける横馬場町、山形屋駐車場と市民駐車場の間の祇園橋は幅が非常に狭く、自動車の離合もぎりぎりなため、自転車や歩行者が常に危険にさらされている。この橋に歩行者専用道路を取り付けて欲しい。

【建設部長】

本件につきましては、横馬場自治会からも要望があり、また、この後、平佐西地区コミュニティ協議会からもご質問がございます。

ご指摘のとおり、幅員が狭くご不便をおかけしていることは承知しております。

抜本的な橋梁架替については、道路整備や財政状況に併せ整備を検討する必要がありますが、早急の実施は難しい状況です。

そこで、歩道橋設置を現在の橋に併設するという考え方もあると思いますが、現在の橋のところ北側の方（下流側）ですが、川底を下水道管が横断していたり水神様や神木など支障物件があり、難しい状況ではありますが、太陽パレス側（上流部）も含めて簡易で安価な歩道橋（鋼材使用による）が設置出来ないか、河川管理者である県等と協議をさせていただきたいと思っております。

質 疑

3号線の歩行者天国をぜひ実現し、中心市街地を活性化してほしい。中心市街地の事業所はこの10年で半減し、売り上げも半減している。人を集める手段として幹線道路である3号線の歩行者天国を毎週1回10時から15時まで年間50回以上実施し、ソフトでの中心市街地活性化を。3号線の通行台数もかなり減ってきている。交

通監督機関と直接交渉し、中心市街地活性化を推進していただきたい。なお、近隣から多くの人を呼び込む歩行者天国は、おれんじ鉄道にも利益が及ぶので、おれんじ鉄道も巻き込んで、一緒に実施推進してください。

【市長】

私は、西回り高速自動車道の川内隈之城道路が開通すれば、この問題については、道路管理者である県や公安関係の行政機関も前向きにいろいろな考え方を注文させてくれるのではないかと申し上げてきました。西回り高速自動車道が、薩摩川内都インターチェンジまで、開通し、今、いちき串木野間は、30%以上車両の通過量が減ってきています。今、川内の中心市街地の太平橋通り国道3号がやはり一番通過車両が多いのです。(質問者)さんのデータでは、少し少なくなっているという調査結果でしたが、なるほど、市役所の裏の方を通る、向田母合橋線というのもありますけれど、一つは、田崎から純心女子大を通って、そして純心女子大のちょっと手前から、こちらに下りて隈之城高城線に乗かっていく道路が通ったので、国道3号を通る代わりに天大橋を渡って、大小路の方に流れていくという車もあり、太平橋通りの通過車両も少し少なくなっているのかもしれませんが、しかし、(国道3号は)人が通るよりも車が一寸の隙もないくらい通っているので、これを交通整理するのは、非常に難しいわけでありまして。市がいろいろな行事を企画したときは必ず国道事務所そして薩摩川内警察署にも相談に参りますが、警察としては、やはり悲惨な死亡事故等発生しないよう、交通が渋滞しないよう、できるだけそういう催し物は幹線道路以外でやって欲しいと言われます。ご案内の通り新幹線開通のときも、最後まで国道3号は、使わせませんでした。向田本通り、堀田通りでやったわけでありまして。したがって、安全対策上やはりどうしても今のところは、国道事務所も警察もなんとかここは車の渋滞がないように事故が発生しないように、そういうことを第一にして国道の管理をしておられますので、大変厳しい。誠に残念ですけれども今しばらくは、ここは、大綱引きとはんやまつりと、この2つだけです。これもできれば、変えて欲しいとおっしゃっておられるわけですが、これだけは、昔からの伝統行事であり、歴史もありますので、特別に認めていただきたいということをやっています。

実は今、国道3号を、木場茶屋駅を通りまして、こちらの方に向かってくるときに、バイパスに入るところから、隈之城の純心高校のところまで、県と薩摩川内市に払い下げるから引き取ってくれときている。市道には今のあの狭さでは駄目だと、片側でもいいから歩道をつけたら、市で引き受けましょう、県で引き受けましょうということになってきております。今、市の方がちょうど隈之城ののせ菓楽のところから、少しずつですが、拡幅をしてきています。できましたら、市道になります。国道3号バイパスが、国道3号ということになるということで、国も少しずつではございますけれども、道路の整備を進めていくことによって、同じ薩摩川内市内に国道3号あり、バイパスあり、

高速道路あり、無料の高速道路ですから、3つは管理はできないということで、払い下げをしていくということを進めています。また、今、都インターチェンジから川内港の背後のところまで、高江インターと仮称川内インターとこの区間約10.2kmの事業に着手していますから、できるだけ短い期間で、整備を終わっていただくよう、一生懸命要請をしています。したがってその目安がつけば、市に払い下げがなされるであろうと思います。できれば今年の3月には引き取ってくれということでしたけれども、片側の歩道をつけなければ、引き受けないということで、まだ、引き受けてませんけれども、どんどん川内も近づいて参りますので、それを楽しみに。そうしたら道路管理者は、薩摩川内市となりますし、また、薩摩川内警察署も、道路事情が変わってきますという、一週間に一回の歩行者天国ができるようになるのではないかと、私もそのように夢を描いて期待をしているところでございます。そういうことですが、もう待ちきれないということですから、それなら両方の歩道を使って、なんとかして、年に2回とか3回でも、月一でも市を開くように、いろんなことやっていただくようにしようではありませんか。今度12月の初めに、大々的に、歩道を使って、いろんなことをしようと今、一生懸命取り組んでいただいております。なお、また中心市街地の活性化のために今、基本計画を作って、これを来年度提出するようにしていますが、なんとか大規模のスーパーなり、商店も郊外ではなくて、川内の市街地に来て欲しいという要請をしておりますけれども、広い敷地が市街地では取れないので、いろんな商社からの照会はあるんですけれども、なかなか暗礁に乗り上げたり、話が進んだり、また壊れたりしています。市街地に大きな商店街を造るとすれば、面積にすると、市役所から南国殖産まで、九電の事務所も全部入ったところでなければ、とても立地は不可能だということで、これはもう不可能ですよと言っているわけでありまして。それよりも、国道3号を今後有効活用できるように、頑張れという激励の言葉をいただきましたので、機会あるごとに私も冬柴国土交通大臣のところに顔を出しますし、また近く別の省の大物が川内に来ることになっています。鹿児島に加治木で私を含めて、首長が3名、民間の代表が3名で意見交換をしたあと、甑島に行って、日帰り東京に帰るといっている人がいるわけです。そういう機会をみまして、私も要望書を、7項目くらい書類を作らせて、要望するようになっています。そういうことで、今しばらく、皆さんで知恵を出し合って、発破をかけていただいて、その間は商店街の店が閉まっているところを市が借り上げて、街で店を開きたいという方に開放できるように、今少し予算措置もしておりますけれども、まだ足りないだろうと思いますので、空き店舗をなくするという事業をモチーフにしながらか、そして、歩道を使っての催し物をやるという。私も4車線のうちの1車線だけでも月一でも開放していただけないかと、こういうお願いはしていかなければならない。そうすれば車を3車線で、あと1車線使えば、また歩道をうまく利用して、いろんな催しをできるのではないかと考えております。そういうことで、本当にいろいろと、ご助言ご提供いただいておりますので、その思いをなんとか、実現できるように、頑張っ

質 疑

議題2に関連しまして、中心市街地の向田地区の人口が減少していると、書いたわけですが、公共施設とかいろんな病院等の施設はいっぱいありますけれども、住宅関係が一番足らない。これからは、団塊の世代も多くなります。車で買い物に行くということも大変になってくる、なにより歩いて回れるところが、一番住みやすい町だと考えている。新聞等でも取り上げられているが、コンパクトシティというのは、今までの施設を使った、例えば水道・下水といった施設に投資をしなくても、そこに住めば、いろんな便利なものが使われる。また、そこにあるものをいかに利用していくかということで、個人住宅だけではなく、集合住宅を増やしていただきたいと思います。実際に天辰に住んでいる方が、市街地まででてくるのが、大変だと言っている。歩いて、あるいは自転車で来れるところに市営住宅等用意していただければ、子育て世代ももっと便利になるのではないかと思います。また、公営住宅も少ないということでしたので、もう少し平均以上のものは造っていただきたい。

【市長】

中心市街の活性化の問題に関連して、市街地に人が住めるような居住空間を作っていくべきだというご意見であります。ごもっとものことであります。ご案内の通り大小路の太平橋のたもとに、高層住宅ができました。今度は駅の東側の方にまた十何階建ての住宅ができました。今駅裏と言われる東側の方にも十何階建ての集合住宅ができました。おそらく数十世帯入っておりますので、その地域に、わずかな面積のところ、住民はそこは増えているわけですね。そういうことも十分承知しておりますので、まず市有地があるところに、そういう市街地ビルが建てられないか、あるいは市有地を提供するから、民間の活力の中で、建てられないか一生懸命照会をしているところなのですが、向田本町のところにかつて市営住宅が5～6戸建っていたところがありますが、今駐車場になっています。ここをなんとか市営住宅としてもう一回復元できないかどうか、容積率が400、建ぺい率が60だったか、7階建てくらいまでは、建てられる。こういう計画、構想みたいなのを考えてみれと言っているのですけれども。市街地の市有地があれば、一番手っ取り早いと思いますが、市が民間の土地を買ってやるということについては、家賃に撥ね返ってきますので、大変厳しい。あるいは、民間でやっていただいたものを、さっきお話しいただいたとおり、市が住宅として借り上げて、そして、市がいくらかずつ払っていくという方法やら、いろんなことを今考えているところであります。天辰の方は遠いということですが、今日は平佐西校区、川内校区、平佐東校区ですので、平佐西の方には、たくさんの財政投資をしております。駅東の方にも区画整理を9.5haやっていますし、天辰の第1工区で75.4haも区画整理をしております。さらに2工区3工区まで、ありますけれども、できるだけ駅に近い、市街地に近いところの保留地等でも出てきましたら、またいろいろと財政的な問題とにらみ合わせながら、

できるだけ市街地の近いところにそういうのが出来ないか、いろいろと事業展開について今研究をさせているところであります。そして、現在既存の市営住宅で、市街地に近いところにあるものについては、造り替えるときには、高齢者向けの住宅もあわせて、下の方は高齢者、上は、若い人たち、こういう区分をした建物構造にもして参りたいというふうに考えております。市街地の中に、14～15階建ての40～50世帯入るマンションができましたら、そこは、一つの自治会になる。そういうことをもちろん考えていかなければならないと思っております。それから団塊の世代の話がでましたが、定住促進対策も一環として、関西方面、関東方面、近畿方面、「おかえりなさい」定住対策のための事業展開をこうしてやっておりますということを、機会ある毎にPRをいたしておりますので、その方々がこちらに帰ってきて、そして第2の人生を川内で過ごすという方々のためにも、受け入れ態勢を作っていかなければならないと思っております。今出ましたご意見等、十分参考にしながら、市の力だけではできないから、民間と共同で開発ができないかどうかも含めて民間の方にもアプローチをして参りたいと思っております。

議題4 (平佐西地区コミュニティ協議会) 生涯学習に関する施設について

拠点都市指定区域である、薩摩川内市の川内駅東側区画整理事業に伴い多目的要素の建物及び広場が建設されると聞いています。

合併前の旧樋脇町、東郷町、入来町、祁答院町は川内駅東側に位置しています。そこに薩摩川内市全体の生涯学習のためのコミュニティの場となるホール、会議室、展示場、図書室、学習室等、住民が気軽に利用できる施設、その他憩いの場になるような施設を作ってもらいたい。

【企画政策部長】

前回は、文化ホールの建設についてでしたが、今回は生涯学習に関する施設についてのご要望でございます。本年の4月から生涯学習の総合調整に関しては、企画政策のコミュニティ課で担当しております。

現在市では、川内駅東地区の区画整理事業区域内に、旧川内西中学校跡地の減歩に伴う換地の土地約8,200㎡を保有しております。

これまで、市議会におきましては、施設は、市のシンボリックなもの、文化的なものを考慮して、若い世代、高齢者など広く意見を聞いて将来構想を練っていききたいと答弁しております。

昨年9月には、川内駅東地区複合拠点施設等のアンケートを、薩摩川内市全域を対象

とし、地域別、年代別、性別の人口割合により2,000人を無作為抽出して実施しておりますが、鹿児島のアミュプラザのような商業施設を求める意見が多かったようでございます。

薩摩川内市総合計画基本構想、同基本計画の中で、複合的な拠点施設としての整備を図りたいとし、総合計画実施計画の平成19～21年度計画に、整備メニュー、整備手法等についての調査・検討を行うこととして掲載しております。

川内駅周辺整備にあたっては、区画整理事業と関連する駅周辺へのアクセス道路整備が最優先課題として、横馬場・田崎線について、新幹線全線開通予定の平成23年春までに事業完了する予定で進めております。

財政運営の面からも、今すぐに公共施設を中心とした複合拠点施設を整備することは難しい状況でございますが、今後、生涯学習施設を含め、市民の皆様が求める機能の把握に努めるとともに、民間の活力を導入した整備手法、整備時期について、検討して参りたいと思っております。

議題5 (平佐西地区コミュニティ協議会)

道路・交通に関すること(1)

外環状線のタイヨー永利店から天大橋通りまでの間、純心大学下が区画整理事業にはいっていますが、現在三叉路でとまっています。この箇所は交通量が大変多く、又交通事故も多発しています。

したがって天辰アグリ館までの通り抜けの延長道路の早期着工と完成、又同時に信号機の設置をお願いしたい。

又中央中から外環状線に抜ける市道も道路幅が狭く車の離合も困難です。この道路は中、高校生の通学路になっています。道路の拡幅工事と信号機の設置を要望します。

【建設部長】

川内タイヨー永利店(県道川内加治木線)から鹿児島純心女子大学下(都市計画道路大学通線)の区間は、ご指摘のとおり、開通前・後で交通量がかなり増大しております。

交通量の分散を図るため、未整備である区画整理区域内の延長約200mについて、家屋の移転補償とか、造成等の工事を実施いたしております。今のところ予定としては、平成22年度に完成の予定でございます。

区画整理というのは、家屋を移転して、また造成し、移転して、造成しというような玉突きで、整備を行っていくので、どうしてもこのような形になってしまうということでございますけれども、早期完成ができるように最大限努力したいというふうに考えています。

また、(純心女子大学下のT字)交差点への信号機の設置については、県の公安委

員会に要望しているところであるが、道路整備が完了すると、さらに交通量が増すと思われること、また、十字交差点となることから、危険性も増すと考えられる。

このことから、引き続き、実現に向けて要望してまいりたいと考えております。

市道横馬場・田崎線交差点から市道平佐・吉野山線（通称大学通り線）の区間、延長約400mは、通勤・通学等に利用されておりますが、幅員が狭く離合もままならない状況でございます。

この区間は、以前から改良の要望がありましたが、地権者の同意が得られず拡張できないというのが実情でございます。

今後、地権者の協力が得られましたら、地域の道路整備の優先度等考慮しながら整備について検討したいと考えます。

道路を整備する場合は、地権者の方々などの協力がまず第一でございますので、ご理解をお願いしたいと思います。

また、この地点の信号機設置につきましては、県公安委員会の管轄になり、県内でも要望箇所が多く、簡単に設置出来ない状況です。道路整備の状況と見合わせながら、継続的に要望して参ります。

議題5 （平佐西地区コミュニティ協議会） 道路・交通に関すること（2）
--

市道の横馬場町の春田川にかかる、ぎおん橋が取り付け道路に対して極端に狭くなっています。子どもたち、おもに中、高校生の通学路にもなっています。横馬場―田崎線の整備が進むと交通量が更に増加されることが予想されるので拡張工事とか歩道増設とか何らかの安全対策を考えてもらいたい。

【建設部長】

議題3と同じ

議題6 （平佐西地区コミュニティ協議会） 防犯に関すること
--

薩摩川内市の中で平佐西地区は犯罪件数が突出して多発しています。そういう事情のなかで、川内駅東側方面に派出所、交番が1箇所も無いので平佐西地区に1箇所検討してもらいたい。

【危機管理監】

お尋ねのあった件につきましては、所管である薩摩川内警察署に問い合わせたところ、現在平佐西地区を管轄している川内中央交番は、平成12年3月10日に、従来の太平橋交番と川内駅前交番との統廃合により、人員の集中と管轄区の見直しを行い機能の充実を図ったものであり、今のところ新たな交番を設置する予定はないとの回答でした。

今年に入り、市内では住宅侵入犯罪、自転車を含む乗り物盗などの窃盗犯罪が急増しており、その中でも、特に平佐西地区における発生件数の増加が著しいということで、薩摩川内警察署では現在、特別警戒隊を発足して、多数の警察官を街頭に出して、平佐西地区を重点としたパトロールを実施しているということでありました。安全・安心まちづくりを進めている本市といたしましては、非常に残念に思っているところです。

本市としては、薩摩川内警察署はじめ、薩摩川内地区防犯協会などと連携しながら諸対策を講じているところであり、併せて川内駅やきやんせふるさと館内の事業所及びタクシー協会、周辺自治会などの皆さんに、川内駅周辺でかけこみ事案等があった場合は、ただちに当事者の身体を保護するとともに、速やかに110番通報をしてもらうようお願いしているところですので、御理解と御協力をよろしくお願いします。

<諸対策>

【薩摩川内警察署】

- ・ 川内駅西口・東口・駅構内・周辺駐輪場や市内大型店舗、繁華街等を重点とした特別警戒の実施。
- ・ 参加・体験・実践型防犯教室の開催

【薩摩川内市】

- ・ 広報薩摩川内7月10日号での犯罪被害注意の広報

【薩摩川内地区防犯協会】

- ・ 薩摩川内地域安全ニュースでの地区コミュニティ協議会や自治会を通じたの犯罪被害注意の広報

【平佐西地区コミュニティ協議会】

- ・ 防犯講座の開催
- ・ 自主防犯パトロールの実施

質 疑

議題5の中で、天辰地区の三叉路の件ですが、完成が23年ということで、まだ4年ある。今、純心の方からのロードミラーはありますが、天大橋の方からのロードミラーはありませんので、見えません。ロードミラーをつけるのは簡単なことだろうと

思います。早急な手当てをすることも行政として考えて欲しいと思う。そうすれば、事故も減ると思う。

【建設部長】

今、ロードミラーの設置ができないかという暫定的な交通安全対策としては、検討させていただきたいと思います。ただ、あそこにつきましては、「止まれ」の標識など、我々もいろいろと検討させていただきました。しかしながら、「止まれ」とか横断歩道というのは、公安委員会の管轄になりますので、うちの方で自由につけるというわけには、いかない。そういう規制ができないというのが、一つございます。続きまして、ロードミラーというのも、付けるというのは検討させていただきますけれども、その前に、交差点については、事故が起こっているわけですから、なるべく運転をされる方も、十分気をつけていただいて、止まれるようなスピードまで落として、いったん止まっただいて、出ていただければ、事故も減るのではないかというふうに考えていますが、我々は、我々で努力はさせていただきたいと思います。

なお、完成は、平成22年度を目標にしております。それがなるべく短くなるように努力させていただきたいと思います。

【市長】

ロードミラーの件ですが、すぐできるようなもの、既設のものがあれば、公安委員会に協議して、すぐ設置をできるかもしれません、できるだけ早い機会にですね、今日のご意見の中で、すぐできそうなのがですね、今これが、最初からゴールラインですね。あとは、たくさん協議をして進めていかなければならないものです。ヤマモトさんがおっしゃったとおりですね、何か一つ今日のこれはすぐできるよというようなものを、これはよく考えたら、あまりお金もかからないし、事故防止のために、警察とも協議して、できるだけ早く、早よできたと言われるように、やってみたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

質 疑

議題4に関してですが、私は、区画整理事業の中で、もうちょっと大きなことをお願いしていたのですが、川内駅ですけれども、逆に言うとあそこに8,200㎡の土地が用意されたのですよね。市民のかかなりの反対があつて、西中跡地をなぜあんな駅の前に持つてくるのだとかかなりの反対があつたんですけれども、市の土地の活用が減ってしまう。市単独では、財政的に困難ですので、線路の上がかなり空いているので、九電とJRと薩摩川内市が合体で、あそこに市民大ホールを造ってほしい（ホールの

中に駅がある状態)とそれに付随してこういう施設は全部できるのではないだろうか。なぜそういうことかといいますと、新幹線が来たので、新幹線を利用した集客を提案しない手はないだろうと。向田の町も衰退してきたということも含めて、みなさんが来たいという町にしていく必要がある。鹿児島文化ホールは駅から、20分かかる川内は、12分で来れる。熊本・八代からもお客を呼べる。外貨を稼がなければ川内は豊かにならない。ぜひ、政治力を発揮して、九電・JRと協力して、皆さんを呼べる施設を造って欲しい。

【市長】

たいへん夢のある、かといってそう遠い先のことではない、現実性をおびた建設的なご意見をいただきました。実は、この8,200㎡を市の土地、駅東側の区画整理事業の中で、駅の一番近いところに持ってまいりました。これについては、何をするかというと、今昭和41年に建設いたしました川内文化ホールが神田町にございます。鹿児島市の文化ホールは薩摩川内市の文化ホールができて、すぐあとにできたわけです。42年くらいたち、古くなっていますので、そういうふうなことも考えて、駅の東側の方に文化的な拠点施設等を将来考えていかなければいけないのではないかとということで、一つはあの土地の換地をあそこに持ってきていただいたわけですが、今、おっしゃられたとおりJR九州の社長や九州電力の関係の代表が市と一緒に協力して、駅のところに一つ市が金を出さないで、文化的な拠点施設ができないかどうか、ご提言いただきました。土地はありますので、私が今考えておりますのは、とにかくあの自由通路の端は空けてありますので、東側の昇降口のところまで、雨に濡れないでそのビルに行けるようにして参りたいという構想を計画中でありますので、そうなったときは、JRの土地も通らなければなりませんので、そういうのも含めて、土地は市が提供する、建物建設は他の民間の活力を生かしていくと、そして文化的な催し物をできるような、欲張って10階から上は住宅にもっていったらどうかと、そういうのを若い人たちにも描けということで、何回も構想は作っているのです。大学の先生方も含めて、構想をつくっているし、アンケートもとりました。いろんな意見が出てきておりますので、ご提示いただきましたのを市だけでなく民活をいれてやったらどうかとそういう話でございますけれども、これはまた大きな検討課題として私としても、前向きにまた話をしていく必要があるというふうに思いました。いい提言をもらいましたので、参考にして参りたいと思います。

議題7 (平佐東地区コミュニティ協議会)

旧国鉄宮之城線跡地の市道改修について

昭和62年旧国鉄宮之城線が廃止されてから、20年が経過いたしました。廃止後、旧楠元駅から楠元上まで道路改良されて地区民は喜んでいますが、しかしながら、残りの改修部分が吉野山まで約670m残っていますので、早急に完成して下さるよう要望します。

【建設部長】

この件につきましては、これまでも要望を何回となくいただいております。

要望路線は、市道楠元中村線として旧国鉄宮之城線を2車線道路で整備してきたもので、未整備区間が約670m残っております。

未整備区間のうち一部区間については、跨線橋の撤去、埋め立てを行い一部舗装等を行ってきておりますが、抜本的な改良は行っていないというところであります。

残された区間につきましては、旧国鉄宮之城線は宅地及び田畑より一段高い場所に位置しているため、利用しづらい道路になること、鉄橋部分については幅員拡幅をし新たな橋梁を架けるため多くの事業費を必要とすること等、多くの課題を抱えている区間であるため、本路線の整備も含め、平行路線である市道楠元木屋園線等の改良等も含めて研究して参りたいというふうに考えております

現在、この地区では市道戸田長野線を年次的に整備しております。これがまだ2年ほどかかると思いますが、まずは戸田長野線を優先して参りたいと思っております。

議題8 (平佐東地区コミュニティ協議会)

市道飯母橋の架け替えについて

現在の飯母橋は、昭和30年ごろ樋脇川の氾濫による流出で、緊急に建設された橋であります。当時は資材や予算も乏しく最低限のコンクリート橋を建設されました。特に災害時は樋脇川の水量も多く、橋が揺れるために大変危険ですので早急に調査をし、架け替えに着工するように要望します。

【建設部長】

市道飯母橋塔之原線の樋脇川に昭和26年に架橋されてから、50年以上経過しており調査の必要性を感じております。

全国的にも橋梁事故が近年、多発したことから調査の必要性が報告されており、市としても老朽橋梁について、調査点検をする必要が言われまして、国の施策といたしまして、長寿命化修繕計画策定事業という事業が創設されました。これは、新しい橋が作ればいいのですが、財政面(国県市含めて)が厳しい、それと公共事業が今大変厳しいという状況ですので、なるべく今ある施設を修繕しながら長く使っていこうというこ

とで作られたソフトの事業ですけれども、事業に対する助成制度が設けられたところでもございます。市としましては、この制度を活用しまして、平成21年度から既設橋梁（橋長15.0m以上）の調査し、計画策定を行う予定としております。

この飯母橋についても、調査の対象として、その結果をみて対応をしたいと思っております。ただ、担当課としましては、現地の調査等いたしております。また、出水等のときは、草木が橋脚に引っかかっておりますので、その取り除きは対応して参りたいと思っております。

議題9 （平佐東地区コミュニティ協議会） 吉野山地区の堤防拡幅などについて
--

昨年の大水害で小学校周辺は堤防が決壊したために住宅等が冠水しました。現在は堤防の災害復旧工事が進められているところであります。災害直後、県と市には口頭で原因のひとつは堤防の強度が軟弱であり、堤防が低く幅員も狭いために、災害が発生したものと申し上げました。二度とこのような大災害が発生しない強い堤防を構築して下さるよう要望いたします。

【建設部長】

吉野山地区の樋脇川につきましては、県が管理する河川でございますけれども、鹿児島県において河川災害復旧工事として、平成19年6月26日から11月2日までの工期で、築堤工事が行なわれています。

当該地域には、右岸の堤防より3m以上低く県道市比野東郷線と市道楠元・木屋園線が交差している場所があります。

現在、県の計画では堤防、道路とも周辺の改良等の計画はないというところですが、災害防止とかそういう生活の安全安心という観点から昨年度のような出水による浸水被害が発生しないように県に対しまして、改善を要望して参りたいというふうに考えております。

また、市といたしましては、この地区では現在、吉野山排水ポンプ施設の河川災害復旧工事を実施中でありまして、この工事にあわせまして、排水能力も以前より向上させようということで、ポンプも増設するというので、現在工事に入っております。など、年内に完成予定でございます。そういうことで対応をやっていきたいというふうに考えております。

質 疑

議題7について、今の回答では、地区民としては、首をかしげるところであります。私どものところは農村地区であり、昨年の水害のときにも、川内川の氾濫、樋脇川の氾濫で、東地区は吉野山も久住も楠元下もほとんどの田畑も一部住宅も浸かりました。この地区は水害の常襲地帯であります。50年に1回の大災害と言われましても、水害にあわれた方の立ち上がりというのは、非常に問題がありまして、大変経済的にも、また過疎地域でありまして、若い人もこういうところには住みたくないという声が聞かれるところでもあります。その中で、基本的には水害をなくする、水害がないようにするために、今日は3点の問題を市当局に願います。全て関連している。この中で、宮之城線の跡地の市道改修ということは、これについても、昨年の水害のときにコミュニティセンターまでに、市役所の職員の方も、消防の方も、ここに加勢に来る方たちも、道路が浸かっているの、物資を運んでこられない。それで、たまたま今、木屋園県道のところができましたが、あそこの市道の買収がうまくいかなくて、2mくらい低くなっている。だから、あそこから水がこぼれてきて、今の市道、車両が通過できない時間帯がある。だから緊急に、今あるところをお金が無いから拡幅するんだということは、わかっておりますが、地区民として東地区をよくするには、楠元上まできている道路をまっすぐ県道の三叉路のところまでは持ってきてもらわないとますます東地区は沈み込んでいく。過疎地域や小学生も40人をきっている。まもなく、なくなるのではないかということになっており、道路が大変重要なところで、戸田長野線の工事が終わったあとに振興計画の中に盛り込んでいただけるとありがたいです。

飯母橋は、4カ所くらい大きくひび割れていますので、いまの状態でも危険度なのに、災害の時には清浦ダムがぼんぼん水を流すので、県と連携をして、必ず調査してくださいよう要望します。

吉野山地区の水防拡幅の件ですが、これを昨年水害後8月18日に、コミセンの中で、コミュニティ協議会、土木事務所長他6名と市建設維持課長、外菌県議、地元コミセンの3役と自治会長等によって、災害のことについて、どう取り組むかを話し合いをしたところでもあります。その中で、県の方も今災害復旧をしておりますが、最大級の災害だから優先して年度内に着工しますとのことでした。当地区は久住地区が水害で久住橋も流れました。楠元下も堤防を作られるとのことになっております。今、ポンプ場も市長が建設維持課長を通じて前よりも強いポンプを作るということをいわれましたので、大変丈夫なポンプが乗るような設計でございますので、我々は、よろこんでいるところでございます。その中で、私どもがいつも県にお願いしていたのが、堤防が、狭くて低くて軟弱ではないのかといつも言っていた。しかしながら、県も予算がないということで、にごしていたが、去年の大災害で、県も市と連携をして協議をしながら試行錯誤しながら、東地区を守ってくださるということで3点は、

全部共通していますので、よろしく願いいたします。

【市長】

昨年の集中豪雨で、大変な被害を受けられた中村地区、吉野山地区には改めてお見舞いを申し上げる次第であります。

着々と再建に向かって取り組んでいるわけではありますが、国・県含めまして災害復旧については、いの一歩で対応していかなければならないと言っておりますし、また、実際そうしているところでもあります。幸い今年は、昨年みたいな集中豪雨がなく、また、台風も大きなのは、来なかった、不幸中の幸いだったと思っております。来年雨期までには、いろんな対策を講じてできるだけ浸水被害等受けないよう努力をして参りたいと、また、国・県に対しましても私の方からも強く要請をして参りたいと思っております。

第2点の飯母橋。写真をいただきました、なるほど、橋が揺れると、力学的に、構造学上、揺れなければいけない部分もあるのだらうと思っておりますが、橋のたもとのところに大きなヒビが入っているということは、そこが揺れる原因の一つではないだらうかと素人なりに写真を見て思っているところでもあります。橋梁架け替えという問題、あるいは耐震構造上、設計が新しい耐震設計基準に基づいて建設してないそれ以前のものでありますので、そういう面からも耐震があるのかどうか、そういうことも調べて、あると思っておりますが、そこも含めてどういうふうにも補強をしたらいいのか、今の大型トラック等の通行に対しては、幅員も狭いようであるし、橋を作り変えることが適当なのか、一部改良して拡幅して補強すればいいのか、そういうのを検討してまいりたいと思っております。

それから、旧宮之城線の跡、市道としてあと670m改良が残っているということでもあります。これにつきましては、水害時における代替路線だということではありますが、あそこを歩いていけば、木屋園のところの市道でちょっと低いところがあるのですが、そこを通らないで、平佐東のコミュニティセンターまで辿りつける道があるわけですから、（住民：小さな道です。）いろいろあると思っておりますので、そこら辺りの関係も再度調査させまして、今、戸田長野線を整備しておりますので、これが、あと2年弱という建設部長の話でございますので、その次は平佐東地区のコミュニティ協議会としては、次の整備の優先第一位はここだということであれば、そちらの方を、できるだけ早く着手できるようにして参りたいと思っております。地域の中で、その次は正込から長野線だといろいろなところもあるわけですが、水害対策ということから考えますと、おっしゃるとおり楠元から戸田の方ににでてくる代替路線としてはそれがあろうと思うわけでもあります。研究させていただきたい。

それでは堤防を強化、拡幅、かさ上げ、これについては、一生懸命専門的に県の方もやっております。30日に知事と会うことになっておりますので、県下17の市長が知事と語る会を開くことになっておりますので、その前に市としての単独要望、広域市町村圏協議会としての要望をやることになっておりますので、そのときに関係部長も出て

きておるでしょうから、知事も一声かけてくださいということで、去年水害でまだ水の引かない小牧精米所の辺りはまだ胸まで来ているときに知事も私と一緒にずっと遠回りをしてみて回ったところでもありますので、イメージとしては、知事も持ってらっしゃると思いますので、こういう状態でもありますので、もう少し早く堤防の補強を進めていただきたいと話をしておきたいと思います。

いろいろな質問をいただき、ここまで、9つの議題を消化してきたわけですが、今日はせっかく5名の地元の議員の方が出席でございます。それぞれいろんな意見をお持ちのことと思います。何かありましたら、簡潔にどうぞ。

川畑議員

中心市街地のことを9月議会でも一般質問させていただいたのですが、やはり3号線の歩行者天国。これはできれば、先ほど小林さんが言われましたとおり1週間に1回とか、まずは1ヶ月に1回とかやれるような段取りをとらなきゃいけないと思っています。ところが、いろいろ私も警察の方と話をした段階では、今でさえ綱引きが、いろいろトラブルやら観光的に短時間で終わってしまって、そうであれば、まず伝統であるからそれはやっているのだと聞いております。まずは歩行者天国をする前に、はんやまつりにしても、綱引きにしても警察署長の一言でNOと言えると聞いておりますので、実際のところ、今回も綱引きもいろいろもめて、いろんな関係者が出て参りますと、伝統的行事がよくなっていくということを言われました。そういうことからしまして、まずはこれを絶対に残さないといけない、そこまでなくなれば大変なことだということも事実です。それとやはり歩行者天国＋パーキングメーター、そういうのをつけて、店の前に駐車場がなければ、なかなかお客さんは、離れていってしまう。今の横馬場の駐車場もありますけれども、なかなか利用客が少ない。あそこで山形屋がイベントをしたり、太陽パレスがイベントをしたときだけ増える。そういう状況でありまして、あれは平成12年の2月に補正予算が緊急に決まって当時の経済産業省が市の土地があれば助成しますよってことで、できた市営駐車場なんです。ですから、そういうことなんかを考えたときにもっと本当だったら、あそこにマンションを造った方がよかったのに、ということも言える。私は今現在、まちづくりには、住宅と福祉と文化をまちに取り戻そうやということが大事だと思う。特に住宅。ドーナツ化現象で住宅がみんな郊外に、店舗の方々まで郊外に家を作って、そして通い店なんていう、そして、住居の方々も安い土地を広く求めて家を建てる。それが今現在現れてしまった。全く住民の要望をそうやっていった結果が今になっている状況です。そして、商店街は、どんどんどんどん採算が合わなくなりやめていった。これを考えたとき、国策によってもやられたともいえる。大型志向が完全に中小・零細、地方をダメにしてしまったということも現実です。それをいかに取り戻すかといったら、住宅と福祉と文化を中心市街地に取り戻すというのが、私の考えであります。

それから、祇園橋のことですけれども、ぜひやってもらわなければ、簡単でいいですから、歩道橋のことをまずやってもらうことを望んでいる。

小牧議員

道路のことと飯母橋のことは、もう地区コミュニティ協議会が一体となって進めていただけるということで、今、市長の方からありがたい言葉といただきましたので、私としては、寺山トンネルと企業誘致をいきたいと思います。平佐西、平佐東合わせて一緒に合体しながら、ここにトンネルを通して特に祁答院、樋脇、入来、幹線道路にバスを持ってきて川内駅に直接繋げるというのが私の夢でございますので、この点をぜひお願いしたい。それから、やはり中心市街地なんかも非常に大事でございますが、やはり皆さん方が懐が温かかないと買い物に行かないです。やはり郡部が豊かでないと中心市街にお金を落とさないということでございますので、今回もお願いしたのですが、企業誘致をして、特に内陸型の企業誘致をして大いに、懐をまず豊かにしていただいて、そのお金を持って買い物に行くということが、筋だろうとふうに考えております。企業地を内陸型できれば平佐東に作っていただきたい。こういうふうに考えております。

佃議員

今でも、川内駅東の区画整理について駅裏という表現をされる方が、地元の方にもいらっしゃるわけです。裏じゃない、これから表になるんだと言っているのですが、川内をとりまく循環の道路については、かなり早くから議論をされていますが、なかなか駅東に直結していくアクセスの道路についてビジョンがなかなかしめされない。一番難しいんじゃないかなと思います。それぞれ駅東の区画整理事業についても、いろいろな波紋が起こっております。そういった波紋のあるところに、やっぱり長い期間かけて道路のアクセスをどうしていくのかということと切り込んでいかなければならぬ。駅東の方は樋脇が祁答院、入来といったところを抱えているわけですから、早いうちに提示をしながらいかないといけないんじゃないかと。どうしても循環の道路が優先をしているような気がしてならないのですが、新幹線の全線開通に伴ったときにはある程度のビジョンが示されていくといった努力を今後はやっていただきたいなというふうに思っています。

今塩屋議員

先ほどから出ているように中心市街地ですね。空洞化そして私の方にも聞きに来ることが、電球を買うのにも隈之城に走らないと買えない、と街中にもう大型店舗が、ベスト電器さんとかあったのですが、郊外型になって、永利とか隈之城方面に行くと、相当不便だと、けども、街中のよさというのは、やっぱり病院もありますし、これから若い方が定住するように定住促進も先ほど述べてましたし、若い方が住みやすいようなまちづくりを当局と一生懸命やっていきたいと思います。

木原議員

西校区は駅東口の駅周辺の区画整理事業、それから天辰の区画整理事業とふたつの事業がもう駅東口の区画整理につきましては、ほぼ終わりに近づいたということですから

ども、天辰はまだ2工区、3工区と含めた中で、まだ何十年とかかる状況であります。今住んでいる中で、皆さんも天辰の区画整理につきましては、毎日毎日よくなっていくなど実感されていると思いますけど、また、我々は住みやすくしていくために、小さいところを頑張っていきたいと考えております。

天辰から中央中に行く純心大の交差点のところに、今道路維持課と建設の方の協力をもらって横断歩道ができるような準備をしつつあります。という報告をいたしまして、終わります。

議員の皆さんから、貴重なご意見をいただきました。

新幹線が23年の3月に博多鹿児島中央駅まで全線開通ということになりますので、このときには、どうしてお客さんを迎えるのか、また、それに伴って人の往来も激しくっていくんではないかと、定住促進も進むのではないかと、また新幹線を利用される方も多くなると、そしたら駅にアクセスする道路をどうするかと、先ほど横馬場田崎線については、23年新幹線が開通するまでには、バイパス4.6mのアンダーパスの道路が旧西中のところからうまくアクセスができてくるということですが、それはいいとして、今度は東郷から来られる方、樋脇の方から、入来の方から来られる方は、どちらの方から入ってくるのか、という今、平佐加治屋馬場線、これは半分側だけ区画整理事業の中に入れてありますし、区画整理区域内だけの道路整備をやっておりますので、川内加治木線の道路まで持っていけるのか。課題があるわけです。それからその平佐加治屋馬場線の南側東側の区画整理をどうするのか、いろんな関係の問題もあります。それから駅の東側の広い道路2.6mの道路を平佐加治屋馬場線まででストップするのかでいえば、隈之城高城線のところまでつなぐのか、そういうことについて、早く提示をしていかなければならない。また、地元のみなさんにもいろいろと考え方を説明申し上げていかなければいけないと考えています。アクセスの問題をどうするのか、寺山トンネルも頭の中に入れながら考えていきたい。また、企業誘致もしていかなければならない。今京セラが増設に入っておりますし、入来の富士通が22年の春までに岐阜にある工場(240名働いている)を増設ができないから、入来の方にみんな配置換えをするということで、240人全部が入来に来るわけではないが、おおかたは薩摩川内の方に移ってくるということですので、少しずつ企業誘致の関係も出て参りましたので、これから少しずつ元気が出てくるのではないかと思います。また、純心女子大も今4年制大学ではありますけれども、一部学生は鹿児島の短大で授業を受けていますけれども、来年の4月からは大学生は全部平佐の方にのぼってきますので、少し市内を歩く女子学生の姿も多くなるんじゃないかと思います。商店街の方に足を運んでもらえるように、まちづくりに頑張っていきたいと思います。

質疑

私は、川内市に来て、初めてびっくりしたのですが、市役所・合庁は玄関2階で、

聞いてみたら、毎年水害になるからという。昭和39年から大水害は免れていまして、そういう水害はない。いろいろと見てみると、今造っている堤防、軟弱な堤防、今の堤防は長雨で水を吸うとゆれてしまう。今の堤防ではどうしようもない。護岸工事の堤防の真ん中にコンクリートの芯を入れると水を吸わないからゆれが少ない。あまり深く入れると地下水にあたるからよくないが、パイルを打って、50cmでいいからコンクリートの芯を入れてくれればと思います。

要望ということでお受けします。

質 疑

今年の4月から自治会で自主防災組織を立ち上げました。その中で、いろいろ調べていきますと、消火栓の数、防火水槽の数を調査していきましてところ、取水の母管が50mmのところがあり、取水できないところがある。消火栓は75mm以上でないといけない。今ある取水を75mmにあげるのは、大変なので、防火水槽をできないかと相談しましたところ民有地の提供がないとできないということでございました。今の時代に民有地の提供をお願いできるようなスペースはない。都市部で考えますとだいたい道路辺りにそういう消火栓があるからいいが、私たち田舎のところは、特に10区画以内のミニ開発で、水道管も50mmだったら、消火栓もできない。

それと、隈之城川公園駐車場から市役所に渡っている歩道橋があるが、途中から階段になっている、なぜ、そのまま2階に突き通さなかったのか。そうすれば、公園駐車場も使いやすくなる。何か考えて欲しいと思います。

【市長】

まず、駐車場の関係からで、ございますが、ご指摘されたとおり、最初堤防に駐車場を造るとなったときには、2階に直接行けるように設計をさせたが、2階に通すところに職員の勤務場所があり、当時はまだ増設もしていなかったもので、そこに入れるまでのスペースがなかった。役所の中でも協議をしたら、2階に通さなければあまり有効活用されないのではないかという意見もあった。それはそれで、近い将来繋がるようにならないといけないと思っています。ご意見ありがとうございます。

昔は、喜入のところの、草原のところは、田んぼだったが、道路が狭くて、まさかあんなに新興住宅街、どこかヨーロッパのまちに行ったようなモダンな住宅があんなにいっぱい、道路の整理が終わらないうちに喜入から草原のうちまで、ずーとできた。追いつかなかったんですね。おっしゃられるとおり、道路も狭いですし、その中で、住宅は密集していますので、火災等が発生したときには、消火栓もままならない。防火水槽も

ない。だれがそう言ったかわかりませんが、土地を提供してくだされば、やりますよという指示はしておりませんので、農村地域に行けば、奇特な方もおられまして、ここでもよかどと土地を提供していただくこともあります。それはそれで、ありがたく頂戴して、整備をいたしております。ところが、こういう市街地地域に入ってまいりますと1坪じゃなくして、1cmの境界を争うわけですから、なかなかできないです。なので、そういうところは、市道とかそういうところを使って、市有地のコーナーを使って、そして、タンクを作っております。そういう市道の関係のところはできるだけ、40tを貯めるタンクが主流ですけど、だいたい500～600万かかりますので、とりあえず、今年は予算の中で、できれば、駅の東側の方、2ヶ所作っておこうと計画をしているところであります。草原地域について40tのタンクを埋められるところがあるかどうか、消防局を通して、現場を確認させたりして、毎年約4基くらいずつ作っておりますので、消防団とか消防局の方で、消防後援会あたりからは是非欲しいという要望が今あがってきますから、これ来年度の予算措置にはいっていきますので、早速そこあたりは検討させてみたいと思います。土地を提供していただけたらありがたいわけですが、市街地部分ではなかなかそういうことはないということは、当局も十分承知をしています。田舎の方に行ったらそういう、ぜひここにと借りられるところは借りておりました。

そういうことで、早速、防火水槽が近くにないかどうか、あるいは消火栓がどこにあるか、そういう水利の関係の施設を十分調査して、ここは当然未整備ということであれば、整備をしていかなければならない。また、相談にもあがらせますので、ここらあたりはいいよということがあれば、教えていただきたい。

質疑

よそから帰ってきたのですが、家の前を通っているのは、市道なんですが、この市道が明治年間からあった宮之城あたりから川内まで続いた本線だったと親父から聞いているが、軽自動車が1台通ったら、人もよけなければ通れない程の幅しかない。市から月に1～2回くらい、パトロールで回ってくるが、その時何を見ているのか、市議会議員等に相談し、見に来ていただき、市に要望していただいたが、一向に来ないので、パトロールする運転手に声をかけたが、聞こえなかったのか行ってしまった。パトロール日記を出すと思うが、それには何が書いているのか。こういう狭い道があちこちあると聞きました。あちこちあるからといって、要望し難儀をしているところは、面倒をみていただくのが、当たり前じゃないですか。ぜひ来ていただいてもう一回見てください。

【建設部長】

場所等あともって詳細に教えていただきたいと思います。調査に伺いたいと思います。

質 疑

災害のときは、正確な情報をいち早く住民に伝えることが一番大事だと書いてある記事を見ました。草原の方は無線で聞いたとのことでしたが、喜入にはまだありません。80代の女性の方が、去年の水害のときも避難命令がでたけど、正確な情報が伝わらないので、非常に困った。市の話では、最新式のデジタルを全戸につける用意があるということで、しばらくお待ちくださいとのことでしたが、その辺が具体的にどうなっているのかをお聞きしたい。というのが1つ。

それから、市長さんには他の会合で何回も言っているが、今や川内の顔になっている、まごころ文学館にいろいろな作品が展示してある有島3兄弟にゆかりのある喜入の道路が、県道ですけれども、道幅も狭くて歩道があることはあるが、一番狭いところは60cmないところがあります。しかもそれが、段が多くて、上ったり下りたりとても歩けた歩道ではありません。ですから、早くからなんとかバリアフリー化して、子どもたちやお年寄りが安心して通れる道にしてもらったらどうだろうかという県にも再三お願いしてあります。

県道ですけど、市長がはまって県に要請をしていただきたい。

【市長】

今、3点の質問をいただきました。災害時における情報伝達のための手段をどういうふうに考えているかということ、どういうふうに対応しているかということですが、今、防災行政無線につきましては、今年からデジタル化をしていくということで、今年度の当初予算で、10億予算措置をしておりますが、まず本体の役所のキーステーションでありますところを整備いたします。そして、来年度から4万4千世帯に個別の受信機が設置できるように対応していきたいと思いい、今作業に入っております。まだ、機種等決めておりませんが、おそらく4万4千世帯配付には5年かかると思いますが、その中で、今、あるところ、自治会で補助をもらって整備してある有線放送施設、あるいは原発の周辺のところについては、市で防災無線でキャッチできて、各家庭に入る放送施設を整備しているところもあります。合併いたしまして、整備してあるところないところいろいろございますので、まずは整備してないところ、何らかの方法で、一斉に情報を伝達するときに、何にもないところは、わからないわけでありますので、そういうところからまず4万4千世帯については、整備していこうと、それから河川の流域、崖下崖上の周辺の集落、というところを中心に整備を優先的にしていきたいと考えています。あるところはとりあえず、そういう放送施設にうまく、何らかの形で伝達ができるように、あるいは繋げるような方法がないか、そういうのを検討しろと言ってありますので、防災行政無線については、早い機会にそういうのが、整備されていくということになることをご了解いただきたいと存じます。

それから、まごころ文学館、有島三兄弟の関係については、平佐の喜入地区の皆様

にもかねてから記念碑の周辺の掃除とか元北郷家のお墓のところの草払いとか、いろいろなところで、ボランティアで清掃作業等やっていただいております。感謝に耐えない次第であります。そういう中で、県道川内祁答院線という道路ですが、県道であります。平佐西小の横を通って、喜入の方に行きます県道なんですけど、歩道もありますけれども、バリアフリー化はされていないと。これについては、今年9月の初めにも県の知事の方に要望書を持って参っております。しかしながら、ご案内の通り知事も報酬の23%くらいカットする、議員も10%カットと職員も5%くらいカットしなければならないという非常に県も厳しい財政状況下にありますので、なかなかあれもこれもというわけにはいかないような状況ですが、しかし、県道でありますので、県が責任を持って整備をしていかなければならないと思います。また、今日のふれあい会議で、きつい要望がありましたということをお聞きして、近く県の方にも10月30日には知事のところにも参りますので、話をしておきたいとこのように思う次第であります。特に川内商工に行く高校生、そして平佐西小学校に通う子どもたち、それから通勤の皆様方、朝夕が非常なラッシュだと思っておりますので、交通量が多い地域だということはわかっております。事故も多発しておるとお聞きしておりますが、安全対策を含めて県の方に強力にお願いをして参りたいと思っておりますので、ご了承いただきたいと思っております。

質疑

先ほど、議員の方たちの話を聞いていると、話の内容がやっぱりお金がかかる建物等の話が多い。これは、中央商店街だけでなく、都市が繁栄するのは、人が集まることが前提なんです。人が集まらないところは中小企業はきません。だから人を集めるには、例えば、現在のハードじゃなくて、ソフトだけでやる。やってみたらいいじゃないですか。そういう度胸が足りないんです。特に川畑さんは9月の議会で話されて、なぜ途中でやめてしまったんですか。このままだったら、ちょっと甘いんじゃないですか。都市経営ということに対して、ぜひ頑張ってください。サボってるとは思いませんが、耳ざわりのいい話ばかりしないで、やっぱりやってください。行政は、計画があって予算があるから、その範囲でなければできない。いい話を持って行っても、翌日からやるということはない。1年先2年先になる。そういうことは承知の上で、簡単なことだったら、すぐできる。いろんなことがいっぱいありますけれども、とにかく人が集まらないところには、企業は絶対来ません。人が集まれば企業も来ます。だまっけても。だから一つ考えを改めて、そういう面にも力を入れていただきたい。

先ほど少し述べましたが、3号線の車の数は、信じられないくらい減っている。たっぷり調べて、市民のために、活性化のために、皆さんの力でしていただきたい思い

ます。

質疑

議題9で吉野山地区の堤防の拡幅工事の案件がでていますが、昨年7月22日の水害のときは、川内川の水が逆流して、樋脇の方の水だけでしたら、堤防は持っているんです。ところが、川内川の水位がどんどん上がって行って、そして樋脇川を逆流させて行って、そしてどんどん押し込んでいってるんです。ですから一番弱いところ、直角に当たるところが今回破堤したところです。おまけに正込側と吉野山側とすると堤防の高さが違います。吉野山の方が低いです。ですから、そういう形で今からもう、激特用事業を356億円かけて、いろんな堤防とかそういうところができますと、ますます水は、流れて川を求めて彷徨います。ですから、そのときにやっぱり計画的に遊水地をきちんと指定して、そして留めるところは留めてそして、流れるようきっちり決めて尚且つそういう低い堤防は元に戻して、そういう形で、県の方にも逆流するんだよという前提で、要望をしていただければ幸いです。

【市長】

川内川の水位上昇に伴って、樋脇川に逆流すると、今回の吉野山のポンプ場のあるところ、あそこの堤防の幅も狭く軟弱なところ。おっしゃったとおり直角になっているところ最後はやられたわけですね。また、戸田橋の架け替えに伴いまして、まだ、川内川の方の堤防のつなぎ目のところがうまくいってなかったところから、水が入っていったということで、正込地区を含めて大水害になったわけです。十分国の方も調査に参りましたとき、私も一緒に同行しておりましたが、吉野山のポンプ場があったところが、堤防の幅が狭いし、軟弱じゃないかという国会議員もある先生が指摘をされまして、川内川河川事務所の技術の副所長もそういう見解を述べておりました。今復旧工事に入っておりますけれども、一部はブロックで固めたりしておりますけれども、今出ましたご意見等につきましては、河川事務所とあるいは県の土木部の方にも、しっかりとまたお話を参りたいと思います。川内川も隈之城川も市役所の窓から見ておりますと川内川の水位があがりますと隈之城川が逆にどんどん上がっていきますので、樋脇川のそれも想定が私もできます。軟弱なところがやられる。そして、カーブ地点のところですね。そういうところの堤防につきましては、十分補強して、強化した堤防にさせていただくように。中には先ほど言われた、矢板を持っていけばいいんだが、矢板を打てば、今度はその周辺から水が枯れた井戸水が枯れたとですね。過去にこの川内川も矢板を打っているんです。ところが、今は水道水が走っていますけれども、かつては、矢板を打ったら水が出なくなったということで苦労したこともあります。いろんな面で強化をしていか

なければならぬと。二度とあんな大水害という事態はあってはならないとっておりますので、県の協力をまた、河川事務所の方にも話をしていきたいと思っております。ありがとうございました。